

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 16

当社のパッケージはお客様の、そして社会全体の環境対応に貢献します。

昨今、海洋プラスチック問題など環境への意識が高まってきていますが、当社はリデュース（使用量を減らす）、リサイクル（再利用する）、リユース（再利用する）に取り組んでいます。ここでは、その一部を紹介いたします。

フジシールグループ 「DBJ環境格付」融資における 「環境への配慮に対する取り組み が先進的」との評価について

フジシールグループでは、環境対応製品の生産を強化する拠点の一つとして、また人と環境にやさしい生産設備の導入を進める新たな生産拠点として、米国ノースカロライナ州に新工場を建設予定です。その資金調達には株式会社日本政策投資銀行（以下DBJ）の「環境格付」融資を活用することになりました。「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発した格付システムにより企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定するという世界で初めての融資メニューであり、融資にあたって実施されたフジシールグループの評価結果は、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」となりました。



今回の格付で、高評価を頂いた3点について、弊社取り組みをご紹介します。

- ① 環境配慮型製品を通じた環境問題解決を掲げる具体的な環境方針を有し、グループサステナビリティ委員会統括の下、リージョン毎の推進責任者と連携しながら、海外も含めてグループ横断的に環境経営を推進している点。

〈フジシールグループ取り組みリンク〉

- [グループ環境基本方針](#)
- [グループサステナビリティ委員会](#)

環境レポート

ENVIRONMENTAL REPORT

Vol. 16

- ② 「ラベルtoボトル」、「ラベルtoラベル」に代表される環境配慮型製品を創出すべく、地域毎の消費者文化や多様な顧客ニーズを柔軟に反映した製品開発に注力するとともに、製品の環境優位性を可視化し訴求に努めている点。

〈フジシールグループ取り組みリンク〉

- フジシールグループの環境配慮型製品の展開 [🔗](#)
- 「ラベルtoラベル」・「ラベルtoボトル」の取り組み [🔗](#)

- ③ TCFD提言に沿って気候変動に伴うリスクを短中長期で把握し、リスク遮減に努めていることに加え、複合プラスチック素材のリサイクル技術開発など、他社と連携しながら気候変動対応を機会獲得にも繋げようとしている点。

〈フジシールグループ取り組みリンク〉

- TCFD提言賛同表明 [🔗](#)
- 気候変動に伴うリスクと機会に関する開示 [🔗](#)
- パウチ・タック廃材の建材化リサイクル [🔗](#)
- モノマテリアル素材を用いたパウチ [🔗](#)

フジシールグループは「2021-2023年度フジシールグループ中期経営計画」の策定にあたって、10年ぶりにビジョンを見直し、「人と環境にやさしい価値を届ける」としました。これは、フジシールが125年間の歴史の中でつねに心がけてきたことですが、「今ほど人と環境を意識したパッケージを考えなければいけない時はない」という覚悟を込めて明文化したものです。今後も持続可能な社会の実現に向け、環境取り組みを推進していきます。

わたしたちのビジョン ～ありたい姿～

パッケージング市場で持続的成長

人と環境にやさしい価値を届ける

持続可能な社会の実現に
貢献する会社ワクワクを創る会社
～ワクワクなしに成長なし～